

- Okamoto, K. and T. Tanaka, 1990a : Tropical Rainfall Measuring Mission (TRMM), Proc. of the Seventeenth International Symposium on Space Technology and Science, 1947-1952.
- Okamoto, K., T. Ihara, J. Awaka, T. Kozu, K. Nakamura and M. Fujita, 1990b : Rain radar in the Tropical Rainfall Measuring Mission, Proc. of URSI-F Special Open Symposium, regional effect of rain rate, 171-174.
- Okamoto, K., T. Ihara, T. Kozu, K. Nakamura, J. Awaka, and M. Fujita, 1991 : Development status of rain radar in the Tropical Rainfall Measuring Mission, Reprint volume of the 25th International Conference on Radar Meteorology, 388-391.
- Okamoto, K., T. Ihara and H. Kumagai, 1992 : Development of Bread Board Model of TRMM precipitation radar, Proc. of the Eighteenth International Symposium on Space Technology and Science, 1919-1924.
- Olsen, R. L., D. V. Rogers and D. B. Hodge, 1978 : The aRb relationship in the calculation of rain attenuation, IEEE Trans. Antenna Propag. AP-26, 318-329.
- Ulbrich, C. W., 1987 : Private communication from D. Atlas, based on the empirical fits on the experimental data by Joss.

## 日本気象学会1994年度春季大会の報告

日本気象学会1994年度春季大会は、1994年5月24～26日にお茶の水スクエアで行われた。参加者数は615名（一般会員457，学生会員131，非会員27）であった。

2日目午後には、大会シンポジウム「酸性雨」に続き、総会が開かれ、定款の一部改正が承認された。これに続き、学会賞と藤原賞の記念講演が行われた。

会期中およびその前後には、個別のテーマによる研究会が計6件開かれた。

発表申込件数は318件で、ほぼ前回並であった。その内訳は第1種講演が236，第2種講演が65，ポスターが17件であった。第2種講演として申し込まれた講演の

うち、予稿の書き方が第2種の要件を満たさない等の理由でプログラム編成時に第1種に変更されたものが12件（前回は11件）あった。

講演企画委員会は、大会発表数の制限と第2種講演の要件変更を内容とする講演申込方法について、大会期間中にアンケートを行い、38件の回答を頂いた。アンケートの結果については、秋季大会プログラムに合わせて「天気」誌上（9月号）に報告する予定である。

今大会事務局として大会準備・運営にご尽力頂いた気象庁観測部と気象大学校の皆様へ深く感謝の意を表します。

1994年7月 講演企画委員会

## 第6回 IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

日 時：1994年10月21日（金） 9：00～13：00  
会 場：九州大学・理学部・生物学教室・会議室  
（箱崎キャンパス理学部3号館5階）

上記の日程で第6回のGAIM研究会を開きます。今回も招待講演と一般講演を行う予定です。地球圏と生物圏との間の相互関係を主にモデルを用いて研究されておられる方の発表を募集いたします。希望者は8月

末日までに演題を添えて下記にお申し込み下さい。  
尚、参加費などは一切ありません。

申込先：〒305 つくば市天王台1-1-1

筑波大学・生物科学系  
及川 武久

(TEL & FAX) 0298-53-6661